

Real-time PCRの基礎と活用

Real-time PCRは遺伝子定量を行う上で重要なツールです。医学研究支援センターにはABI7300システム、QuantStudio™ 6 Flex Real-Time PCR システムが設置しています。後者では96ウェルファストプレート及び384ウェルプレートを用いた測定が可能です。

本説明会ではサーモフィッシャーサイエンティフィック社から講師をお迎えし、Real-time PCRの基礎からトラブルシューティングを含む実験のポイントまで解説して頂きます。皆様のお申込をお待ちしております。

日時：2017年7月27日(木) 15:00-16:30

定員：40名（先着順、定員に達し次第募集終了）

場所：医学部A棟1階103・107室

申込方法：メール

件名に「第213回説明会参加申込」、
本文に①氏名・②所属名(研究室名等)・③職名または学年を明記の上、
下記アドレス宛にお送り下さい。

* 医科学修士の方は「平成29年度医学研究技術実習」受講時間認定希望の有無も記載して下さい。

〆切：2017年7月26日(水) 13:00



===== 説明会・機器利用に関する連絡・問い合わせ先 =====
京都大学大学院医学研究科 医学研究支援センター(総合解剖センター棟4階東側)
メール：info@support-center.med.kyoto-u.ac.jp
URL：<http://support-center.med.kyoto-u.ac.jp/SupportCenter>



この説明会は「平成29年度
医学研究技術実習」
受講時間にカウントされます
受講時間：2時間



案内
HP
連絡用
メール
アドレス

Real-time PCRの基礎と活用

【スケジュール】

- (1) サンプル準備: 遺伝子解析で真の意味で良好なデータを出すために必要なステップ
RNA抽出やサンプル準備の注意点
回収したRNAの品質評価のポイント
逆転写反応のコツ など
- (2) リアルタイムPCRを理解して適切な結果を出すための知識とポイント
リアルタイムPCRの基礎原理
PCR Primer設計や内在性コントロール選択のコツ
各種データ解析方法(検量線法 / $\Delta\Delta CT$ 法)
蛍光ケミストリ(TaqMan法 / SYBR Green法)
実際の実験準備におけるポイント
非特異的な増幅を防ぐ工夫 など
- (3) 新しい研究を可能にする最新遺伝子解析手法
Single Cell遺伝子解析の留意点
Liquid Biopsyサンプルからの解析方法
リアルタイムPCRを用いたゲノムの変異解析手法
新しい技術としてのデジタルPCRによる遺伝子の絶対定量やゲノム解析方法 など